

# 個人番号カードの 多目的利用について

福井県越前市

# 越前市の基礎データ

住民基本台帳人口	83,366人 (H28.4.1現在)
世帯数	29,417世帯 (H28.4.1現在)
面積	230.70m <sup>2</sup>

## 個人番号カードの受付状況

申請件数	4,342件 (H28.4.18現在)
交付枚数	801枚 (H28.4.18現在)
※住基カードの有効枚数	8,479枚(H28.4.1現在)

# 個人番号カードの多目的利用内容

- **証明書自動交付機**  
住民票の写し、印鑑登録証明書、  
所得証明書、資産証明書、納税証明書
- **印鑑登録証**
- **図書館利用カード**

※平成29年4月からコンビニ交付開始予定

※現在、個人番号制度プロジェクトチームで、その他の多目的利用方法について模索中

# 証明書自動交付機の利用

- 平成9年 「たんなんカード」を発行し、丹南5市町で自動交付機による証明書の広域交付を開始。
- 平成20年 あわら市・永平寺町が広域証明書自動交付機を導入  
以降、各市町が広域証明書自動交付サービスに参加
- 平成23年 丹南5市町が住基カードによる自動交付機サービス開始  
広域証明書自動交付サービスにも参加
- 平成28年 個人番号カードでの自動交付機利用開始

# 証明書自動交付機の利用

## ○利用方法

「たんなんカード」で自動交付機を使えるように設定している人は、個人番号カードにカードAPをダウンロードし、自動交付機を使えるよう設定。

「たんなんカード」の自動交付機利用機能は削除。

それ以外は、本人の希望を確認。

## ○コンビニ交付

平成28年4月に導入予定

# 印鑑登録証としての利用

平成23年 住基カードを印鑑登録証として利用開始  
平成28年 個人番号カードを印鑑登録証として利用開始

## ○印鑑登録証としての利用方法

個人番号カードと印鑑登録証を一枚化するか否かを確認。  
一枚化を希望する人に対し、個人番号カードの磁気ストライプ部分に印鑑登録番号をエンコードし、印鑑登録証として利用。

## ○課 題

窓口での印鑑登録証明書交付の際に暗証番号の入力が必要  
→ 個人番号カードと一枚化する人の伸び悩み

# 図書館利用サービスについて

- 平成20年 あわら市、永平寺町で住基カードを図書館利用カードとして利用開始
- 平成22年 県立図書館が住基カードを図書館利用カードとして利用開始  
広域交付参加団体が住基カードを県立図書館の利用カードとして利用開始。
- 平成23年 越前市でも住基カードを市立図書館及び県立図書館の利用カードとして利用開始
- 平成28年 個人番号カードを図書館の利用カードとして利用開始

# 図書館利用サービスについて

## ○図書館利用カードとしての利用方法

個人番号カードの交付受付時に、申請者に希望を確認



希望者に図書館利用カードAPをダウンロード



図書館で図書館カード番号と個人番号カード・住基カードの標準IDを紐付け



図書館管理用カードとして利用可能

※カードAPがダウンロードされていなくても券面情報で図書館利用カードとして利用できるよう、弾力的な運用も行っている。

# 図書館利用サービスについて

## ○課題

- 図書館利用カードとして利用する人が少ない。
- 県立図書館をはじめ、県内他市町において個人番号カードの導入を機に、図書館利用カードとして利用を中止しているところがほとんど。
  - 広域交付参加団体が共同で設置している I C カード標準システムの今後の運用が不透明。